



社団法人 日本理学療法士協会

富山県士会ニュース

平成19年度 No. 2 (通算 106号)

総会員数 361名 (休会42名)

全106施設

新入・転入会員、塚本会長・理事役員とともに



新入・転入会員の集いにて 6.24

荻島元県士会長が協会賞授賞	2
第1回 地区連絡会・代表者会議開催!	3
理事会報告	4~7
研修会報告	7~9
理学療法週間事業開催	10
新入・転入会員紹介	11~14
県内の保健医療福祉の情報	15
この人に直撃インタビュー	16~17
第13回 富山県理学療法学会大会	18
士会員の独り言	18~19
事務局インフォメーション・編集後記	19
平成19年度賛助会員名簿	20
平成19年度求人広告	21~24

2007.9.21

社団法人 日本理学療法士協会
富山県士会

〒936-0023 滑川市柳原149-9
富山医療福祉専門学校 理学療法学科内
☎(076) 476-1716

発行人: 塚本 彰
編集: 中谷 郁
印刷: 志貴野 苑

士会URL: <http://toyamapt.umin.ne.jp/>
事務局アドレス: toyamapt-office@umin.ac.jp

荻島元県士会長が協会賞授賞

平成19年5月23日、新潟市朱鷺メッセで行われた第25回協会賞授賞式にて、荻島久裕 元県士会長が協会賞を授賞されました。この協会賞は理学療法士の実績に対し贈られる賞です。荻島 元県士会長は、長年にわたり富山県理学療法士会の理事・会長を務めるとともに、理学療法士における教育、学術面の向上に大きく貢献されたこと。また協会活動においても教育運営に寄与、学会発表をはじめ著書・地域等への業績などの功績により協会賞が贈られました。今後も様々な分野で、ご活躍していただきたいと思っております。

最後になりましたが、協会賞授賞 おめでとうございます。

略 歴

昭和24年5月東京生まれ、昭和50年高知リハビリテーション学院卒、米国オハイオ州St. Alexis病院、玉木病院、東京厚生年金病院、山田温泉病院勤務を経て平成8年から富山医療福祉専門学校理学療法学科長、平成元年、富山県に赴任し、平成3年から富山県士会理事、副会長、会長を歴任し現在相談役、日本理学療法士協会社会局調査部長・教育局教育部長、理学療法学編集協力者、全国学術大会座長（教育管理系）、シンポジストを歴任、その他、教育分野を主とした論文・学会発表、著書、講習会講師等多数、平成16年教育管理系専門理学療法士認定



荻島先生にインタビュー!!

① 協会賞を受賞しての感想は？

協会表彰を受けるような年齢になったんだという年齢感覚を感じたこと
理学療法士としての仕事をしてきたことに対する1区切りになったという少し晴れがましい気分と感慨

② PTになられてから苦労したことは？

様々な出来事があり、その都度多くの時間とエネルギーを使ってきたが、苦労とは思ってこなかった

③ PTになられて良かったと思うことは？

多くの人々との出会いを通じて生活の質より、人生の質を高めることができたと思えること
天職にめぐり合えたことの幸せ

④ 今後の抱負

理学療法士という職種・人を育て、見守り続けること
ここまで支え続けてくれた妻への感謝と今後の時間の共有を大切にすること
8月に初孫誕生予定、新たな役割への挑戦

⑤ 富山県士会員に向けて一言お願いします

理学療法士の仕事、存在を価値あるものとし、一人一人の人生の質を高めていって欲しいと思います

第1回 地区連絡会・代表者会議開催！

平成19年6月10日(日)総会終了後、地区連絡会・代表者会議が開催されました。総会後に各地区でテーブルについていただき、自己紹介、最近の情報等について意見交換を行いました。

早速、地区で集まる日の設定や、今後の予定等が話し合われていました。その後に、各地区代表の方々と役員を交えて代表者会議として今後の方向性や、各地区でのコメントについて報告されました。

学術、研究会での活動ばかりではなく、地域で顔が見える、そして日頃の連携につなげてゆくことのできる活動が発展してゆくことを期待したいと思います。(文責：城戸)



木林 勉氏
(富山市福祉保健部)



小林 明弘氏
(高志通園センター)



山本 伸治氏
(富山労災病院)



山口 城弘氏
(高岡市民病院)



土井 仁美氏
(厚生連滑川病院)



高田 欣司氏
(南砺市民病院)



池田 裕哉氏
(八尾総合病院)



地区名	該当市町村・地区	地区代表
新川地区	朝日町、入善町、黒部市、魚津市	山本 伸治氏 (富山労災病院)
中部地区	滑川市、舟橋村、上市町、立山町	土井 仁美氏 (厚生連滑川病院)
富山北部地区	水橋、針原、下飯野、岩瀬、楠木、豊田等	小林 明弘氏 (高志通園センター)
富山中央地区	西長江、長江、丸の内、鹿島、牛島本町、五福、下新北町、新桜町、中野新町、千石、今泉、太郎丸等	木林 勉氏 (富山市福祉保健部)
富山南部地区	流杉、大山町、蛭川、小中、上千俵、秋ヶ島、春日、楡原、杉谷、婦中町、八尾、山田等	池田 裕哉氏 (八尾総合病院)
高岡地区	高岡市・氷見市・射水市	山口 城弘氏 (高岡市民病院)
砺波地区	砺波市・南砺市・小矢部市	高田 欣司氏 (南砺市民病院)



第1回 会議開催

平成19年度 第2回 理事会報告

日 時：平成19年5月17日（木）19:00～

場 所：富山市民病院リハビリテーション科

出席者：塚本 田村 滝田 島倉 寺田
川合 森山 増山 城戸 宮原(書記)

<報告事項>

○事務局報告：PT協会・他県士会・関連団体からの事務局宛郵送物、公文書発行、会員異動について報告された。PT協会からは、「臨床実習の手引き第5版」等の郵送物があった。

<検討事項>

1. 第1回研修会(理学療法基礎系研究会)計画：「医療・介護分野における統計学」をテーマに、平成19年6月10日（日）富山医療福祉専門学校にて開催予定。講師は折笠 秀樹 氏（富山大学医学部バイオ統計学 教授）。
2. 平成19年度第1回総会について：平成19年6月10日(日)の第1回研修会終了後に開催予定。場所は、富山医療福祉専門学校。議題は、平成18年度事業・決算報告、代議員会報告、地区連絡会などを予定。
3. 地区連絡会会議及び代表者会議について：平成19年6月10日（日）の総会終了後に開催予定。各地区の顔合わせや、今後の運営について代表者会議で検討する。
4. 平成19年北陸3県交流会について：平成19年6月30日(土)に会議と懇親会を予定。懇親会は「磯風（イソップ）」、会議場所は、今後検討。会議内容は、各士会の現状（事業報告・決算など）、協会要望など、各県に事前に問い合わせる。参加者は、役員・相談員・監事などを予定。
5. 富山県への要望書について：富山県のPT需要調査に基づき、平成19年度7月中旬以降に提出する予定。6月中旬に、職能局

がアンケート内容の集計及び分析を行う。

6. 富山県士会35周年記念事業の委員会設置：レセプション・講演会などを、今後実行委員長を選考し検討する。

平成19年度 第3回 理事会報告

日 時：平成19年6月28日（木）19:00～

場 所：富山市民病院リハビリテーション科

出席者：塚本 田村 滝田 島倉 寺田
堀尾 森山 増山 城戸 金川(書記)

<報告事項>

- 事務局報告：PT協会・他県士会・関連団体からの事務局宛郵送物、公文書発行、会員異動について報告。
- 代議員会報告：平成19年5月23日に開催された、第36回社団法人日本理学療法士協会代議委員会（総会）内容を寺田先生より報告される。

<検討事項>

1. 平成19年北陸3県交流会について：平成19年6月30日(土)、会議・懇親会を氷見市にて開催予定。会議については、各士会の現状、協会への要望などを、報告・検討事項に挙げる。当士会では、地区連絡会やPT需要調査の報告、東海北陸の事業・活動の問題点、石川県士会にPT養成校増加による人員過多の問題提起の提案などを考えている。
2. 第2回研修会（骨関節疾患研究会）計画：「膝関節機能を考える一特に高齢者に視点をあてて一」をテーマに、平成19年7月1日（日）厚生連高岡病院にて開催予定。講師は嶋田 誠一郎氏（福井大学医学部付属病院PT）。
3. 臨床実習指導者研修会計画：「臨床実習教育研修会一臨床実習指導に不安はありませんか一」をテーマに、平成19年7月

28・29日にサンフォルテ（富山県民共生センター）にて開催予定。現在申し込み者が県内外から39名と昨年より大幅増。

4. PT需要調査について：森山・増山より報告。今回の理事会時点で公的公立病院27施設以外のアンケート回答を回収し集計した。発送数183施設に対し、回答数82施設（回収率45%）。7月末まで公的公立病院からの回答を回収・集計、OTの人員状況を調査し、分析を進める。
5. 医療保険部アンケート調査について：県士会から会員へ、診療報酬・制度の改定・職能の情報提供手段を探るため、各施設へ情報伝達方法についてのアンケート調査を行うこととなる。
6. その他：県士会発行情報誌の役割明確化について意見が交わされた。

平成19年度 第4回 理事会報告

日時：平成19年7月21日(土)17:00～18:30

場所：富山市十々八

出席者：塚本 田村 滝田 島倉 寺田

堀尾 森山 増山 城戸 西川

福江 村田 荻島

理事 10/10

<報告事項>

○事務局報告：北陸三県役員交流会報告。各士会の取り組み状況、活動等の報告が行われた。石川県士会では新組織による体制、3月25日の能登沖地震による震災への対応について報告された。福井県士会では、少年野球でのサポート活動、JICA医療スタッフ練成コース運営協力、また中間法人取得に向けての準備状況等が報告された。富山県士会では各専門領域研究会の活動に注目

が集まり、質問が多く出された。

<検討事項>

1. 理学療法士需要調査について
職能局で行った理学療法士の現状・需要調査概要報告。データをもとに現状の理学療法士数、求人数、理想数を集計した。結果としては、理想数としては現状の46%増の数ではあるが、それがイコール求人数にはなっていないことが確認できた。特に介護分野では作業療法士と合わせて考慮している背景が伺えた。また、理学療法士の需要については他県の取り組みや介護分野における訪問リハビリテーションの在り方を検討しなくてはならない。
2. 今後の理学療法について
医療と介護分野との連携が難しくなっており、利用者の状況が把握できていない。理学療法士の需要については現場の理学療法士の必要性の声が上がらないと変化していかないのではないかと。理学療法士が管理することの必要性をアピールしていく必要性、訪問リハビリ、介護保険分野への参画が課題である。また、診療報酬がネックとなって、人員の補充ができない部分もある。患者さん、利用者の立場に立って、そのニーズを把握することが基本であろう。家族の目線に立って対応してゆくことが基本である。しかし、そのニーズに対応できる理学療法士が育っていないのも現状である。そのための教育のシステムも重要である。守りながら、育てながらの理学療法士教育が必要である。



平成19年度 第5回 理事会報告

日時：平成19年7月24日（木）19:00～
場所：富山市民病院リハビリテーション科
出席者：塚本 田村 滝田 川合 堀尾
森山 増山 城戸 有島（書記）

<報告事項>

- 事務局報告：PT協会・他県士会・関連団体からの事務局宛郵送物、公文書発行、会員異動について報告。
- 第1回学術研修会報告（理学療法基礎系研究会）：平成19年6月10日（日）富山医療福祉専門学校にて開催。「医療・介護分野における統計学」をテーマに富山大学医学部バイオ統計学教授の折笠秀樹氏に講義していただいた。参加者は74名であった。
- 第1回高次脳機能障害支援センター相談支援体制連絡調整会議報告（事務局）：平成19年7月12日（木）サンシップとやまにて高次脳機能障害支援センター相談支援体制連絡調整会議が行われ事務局長が参加した。概要説明、委員紹介、事業内容などを報告。
- その他：公益事業局より「理学療法週間事業」報告がなされた。平成19年7月22日（日）イオン高岡ショッピングセンターにて開催され、前年より来場者多く盛況であった。今後の課題として広報物の使用に関して検討する必要があるとの意見が出された。

<検討事項>

1. 第13回富山県理学療法学会趣意書について（学術局）：大会趣意書の内容および要項について検討された。
2. 第1回小研修会計画（呼吸ケア研究会）：平成19年8月3日、富山市民病院にて症例検討会の予定。
3. 富山県理学療法士会要望事項について：訪問リハビリテーションの現状についての報告があり、今後の県士会の対応が議

論され、継続して検討していくこととなった。

4. 35周年記念事業について：準備委員と予算を次回の理事会で決定することが確認された。
5. 「運動器介護予防に係わる実態調査」について：今後の対応が検討された。

平成19年度 北陸三県役員交流会報告

日時：平成19年6月30日（土）午後5:00～
場所：いきいき元気館（富山県水見市）
出席者：富山県士会（8名）
石川県士会（10名）
福井県士会（6名）

<各県士会よりの報告事項>

- 富山県士会
会員366名、平成19年度入会会員41名、年度予算985万。
取り組みとしては、理学療法啓発普及事業、理学療法士の資質向上に関する事業、広報関連事業、管理者会議や地区連絡会を設置し会員相互の交流による活動も視野にいれている。その他、役員、事業計画の紹介。広報誌「きときとPT」第2号、研修計画書の紹介。



北陸三県役員会

○石川県士会

会員503名、新入会員数65名、年度予算649万。新組織による体制をとる。主な事業としては公益事業にて保健福祉事業、生活習慣予防事業、介護予防事業、その他少年野球メディカルサポート事業（福井県士会と合同）を実施。広報事業、職能関連事業、学術事業を展開している。3月25日の能登沖地震による震災では、対策委員会を設置し巡回、士会員に一般ボランティアとしての参加を呼びかけた。動作指導、エコノミック症候群に対する対策を実施、OT士会と交代で活動を行った。協会よりの義援金は県士会へまず入れてもらった。

○福井県士会

会員数413名、新入会員41名、年度予算430万。少年野球（ボーイズリーグ）でのサポート活動、地域リハビリテーションセミナー開催予定、JICA医療技術スタッフ練成コース運営協力。職能局では医療保険、介護保険に関する事業、業務推進部では身分法の

見直しも含めて理学療法について政治への発言を行うべく連盟の準備を行う。また、平成20年3月中間法人取得に向けて準備を進めている。

<その他>

質問では学術活動について（富山県士会の専門領域研究会の活動）、法人化に関する事等について意見交換が行われ、最後に佐々木福井士会会長より北陸三県での政治連盟の組織作りが提案された。90分の時間では足りず、その後の懇親会でも活発なディスカッションが行われた。



左より 佐々木(福井) 塚本(富山) 荒木(石川)会長

研 修 会 報 告

平成19年度 第1回 学術研修会報告

富山医療福祉専門学校 城戸智之

理学療法基礎系研究会の担当で、平成19年6月10日（日）、富山医療福祉専門学校にて第1回学術研修会を開催いたしました。テーマは「医療・介護分野における統計学」と題して、講師は富山大学医学部バイオ統計学教授の折笠秀樹先生にご講演いただきました。参加者は74名でした。医療・福祉の分野でのリハビリテーションシステムを構築する上で、対象者の動向を把握したり、理学療法の効果を確認したりすることは必須の課題であると

思われます。研究に限らず、基本的な統計学の知識は重要であります。今回の講演では、



先生に理学療法研究の特性に合わせたわかりやすい統計学を解説していただきました。また、研究を行ううえでの倫理規定やデータ数、

他職種との連携の重要性等をお話いただき、大変貴重な研修会となりました。

理学療法基礎系研究会では、研究に関する支援も視野にいて継続的に取り組んでいきたいと考えています。

卒後教育研修会

高志リハビリテーション病院
高田 厚 志

平成19年6月24日（日）に富山医療福祉専門学校において卒後教育研修会が開催されました。生涯学習では厚生連高岡病院の寺田一郎先生をお招きし、「生涯学習の進め方」について、世界の理学療法では金沢リハビリテーションアカデミーの川端久美子先生をお招きし「ドイツの理学療法システム」について、それぞれご講演いただきました。寺田先生からは、教育理念・教育目標や生涯学習システム・ガイドラインに関してのお話を頂き、理学療法士としての人格、倫理及び学術技能の研鑽の必要性を再認識致しました。川端先生からは、日本とドイツの学生教育の違いについてのお話や、頸部・腰部痛に対するJandaアプローチや職業復帰トレーニングとしてのErgonomic Training Therapyについて動画を用いての紹介がありました。受講者は新人会員を含め多数の参加があり、充実した研修会になったのではないかと思います。



寺田先生



川端先生

平成19年度 第2回

学術研修会報告

西能病院 坂下 恵 理

平成19年7月1日（日）、厚生連高岡病院において、福井大学医学部附属病院から嶋田誠一郎先生をお招きし『膝関節機能を考えるー特に高齢者に視点をあててー』と題された研修会が開催されました。今回の研修会は専門領域研究部骨関節疾患系による企画であり、骨関節疾患系の部員を始め、富山県内の病院・関連施設から多くの理学療法士が参加されました。

研修会の内容は高齢者に多い膝関節疾患（変形性膝関節症：以下膝OA）を中心とする病態特性とそれらに対するアプローチという事で、前半は膝OAの理学療法について主に関節動揺性、動的負荷増、筋力と活動性、固有受容感覚について先生が行われた研究データをもとに解剖学的・運動学的な観点から膝関節機能についての講義が行われました。

また後半では関節可動域制限に対する治療、筋機能改善を目的とした治療についての講義が行われ、長年、膝OAの研究をされてきた嶋田先生が考える理学療法の戦略として早期介入・長期的よりも短期的戦略の重視・複雑なものより簡単な方法論の導入の大切さなどを伺うことができました。

私自身、TKAやACL術後の方・膝OAを保存的に治療されている方など膝関節に疾患を持った患者様と接する機会が多いので、今回の講義を聞き、日々接している患者様の膝関節の状態がどの時期なのか治療前に今一度考え、治療を行っていくことの大切さを再認識することができました。また講義終了後には多くの質問も飛び交い、日頃患者様への治療や指導を行う中で感じる疑問点についてアドバイスや助言が取り入れられており、短い時間ではありましたが有意義な研修会になっ

たと思います。

最後に今回の研修会で講師をして頂いた嶋田先生・研修会を企画して頂いた骨関節疾患系の先生方・研修会に参加された先生方に感謝いたします。

臨床実習教育研修会

卒前教育部 中 屋 さおり

去る、7月28日(土)・29日(日)の2日間サンフォルテ(富山県共生センター)において、日本理学療法士協会教育部との共催で今年6回目となる「臨床実習教育研修会」を開催しました。経験年数が3年から7年の先生方を中心に、上は23年目と幅広い年代の先生方40名に参加していただきました。

研修会1日目は、講演Ⅰ「情意領域の教育」に富山医療福祉専門学校の荻島久裕先生、講演Ⅱ「臨床実習指導の進め方」に信州大学医学部保健学科の木村貞治先生、講演Ⅲ「技術領域の教育」に関西医科専門学校の中川法一先生、2日目は講演Ⅳ「臨床実習のための教育技法」と題して国際医療福祉大学の潮見泰蔵先生にそれぞれ講演していただきました。講演後は、参加者から提示していただいた中から、6事例をテーマに選びワークショップを行いました。講演やワークショップの際は質疑応答が活発になされ、参加者の問題意識の高さを感じました。



潮見先生

終了後のアンケートでは、「具体的で参考になった」「実習指導の要点や方法が分かりやすかった」「学生指導だけでなく、新人職員への指導や自分の臨床業務における思考過程にも役立つ内容だった」などの意見もいただき臨床実習教育に限らず、日頃の臨床を振り返り整理することにも役立つ研修会になったと思います。

介護保険部主催 小研修会について

むらおかクリニック 新 森 靖 子

平成19年7月20日(金)19時から、県立中央病院5Fホールにて、介護保険部主催小研修会「現状をみんなで喋らんまいけ! Part 3」が開催されました。

介護保険サービス提供施設に勤務する士会員の情報・意見交換や個々に悩んでいる問題等をグループに分かれて話し合い、発表する形で研修会は進められました。

平日の19時からという時間帯にも係らず28名の出席者があり、関心の高さが伺えました。同じ介護保険サービスを提供する施設に勤務する会員同士の集まりではあったのですが、意見や問題は多岐にわたり、時間内では解決が難しい事もありました。

各個人でも解釈の違いがあったり、情報の共有化や、現場での意見や疑問などを社会に発信していくことの重要性を考えさせられました。



理学療法週間事業開催

広報部 菱田 実

平成19年7月22日（日）イオン高岡ショッピングセンターにおいて、理学療法事業を開催しました。午前9時より会場設営を行い、開店時間の午前10時からイベントを開始しました。

今年は、開始早々、風船の配布をやめてほしいという店側の要望があり（ちょうど映画館でポケモンをやっており、「映画のクライマックスのいちばんいいところで"パン"と風船が割れるので何とかしてほしい。」と、お客さんからクレームがついたそうです。）、『こっこれは・・・もっもしかして・・・だっ誰も来てくれないのでは・・・』という予感がちらりと頭をよぎり、ちょっとブルーになりました。が、しかし、but（だいふ古いギャグ。東京乾電池のベンガルの持ちネタ。）、どういわけか、今年はすごかったです。イベント開始から車椅子体験コーナーや体力測定コーナーに体験者が次々と訪れ、かなりの賑わいを見せ、午前中で、60袋用意した体験者用のお土産袋（中身は「きときとPT」と協会からのパンフレット、ボールペン）が殆んどなくなるくらいで、予定をはるかに上回るペースでした。

昼食時には部員が交代で休憩に入ったため、来場者も減りましたが、それでも誰もいない

という状況は殆どなく、午後2時くらいになると、時計を見る機会がグンと増え、さすがに部員の表情にも疲労の色が見え始めましたが、終了時間の午後3時になっても来場者は



体力テストに行列!!

絶えることが無く、大盛況って感じでとても嬉しかったのですが、その反面、『疲れた。明日も仕事や。』みたいな、そんな感じもありました。

午後3時30分には片付けも終わり、今年度の理学療法週間事業を終了しました。

結局、100人を超える方々に来場していただき、準備した配布物も全て無くなり（風船はいっぱい残りましたが）、大変良い活動ができたのではないかと思います。

また、イベントの様子は、翌日の北日本新聞、富山新聞、北陸中日新聞の朝刊で紹介されました。

7 / 23 (月) 北日本新聞より掲載

い操作法を紹介した。子供連れで訪れた男性は「将来使うかもしれないので乗ってみた。意外と軽い力で進むことができた」と話した。けがや病気のリハビリテーションを行う理学療法は医療現場での重要性が増している。関心を持つ高校生らへの進路相談も行った。



写真。車いす体験では、通常タイプのほか、競技用や電動型の車いすをそろえ、正しい

車いすの操作法紹介

高岡で県理学療法士会

県理学療法士会（塚本彰会長）は二十二日、高岡市のイオン高岡ショッピングセンターに

リハビリ相談や車いす体験のコーナーを設け、訪れた人に理学療法への理解を深めてもらった

新入・転入会員紹介

平成19年度、富山県士会に新入・転入された皆さんをご紹介します。

アンケート内容

1 氏名 2 血液型・星座 3 特技 4 自己PRをどうぞ

あさひ総合病院

- 1 魚谷 和正
- 2 A型・しし座
- 3 デザイン画
- 4 向上心のある医療人としてリハビリテーションに携っていきたいです。

- 1 行澤 慶
- 2 O型・ふたご座
- 3 バスケットボール
- 4 190cmという大きな体を生かしてPT道を精進していきたいです。

老人保健施設 こぶしの庭

- 1 山本 恵
- 2
- 3
- 4 いつも元気に、笑顔でがんばりたいと思います。よろしくをお願いします。

池田リハビリテーション病院

- 1 川崎 正彦
- 2 A型・射手座
- 3 晩酌
- 4 マイペースでがんばります。

- 1 松浦 綾野
- 2 O型・多分おとめ座デス。
- 3 特技はないですが、最近腹筋きたえてからカラオケで声が出るようになったので、それが楽しいです。(笑)
- 4 福井県から来ました。富山も福井と同じくらい方言がキツイので、最初は困惑してました。最近では、福井弁と富山弁が入り混じっている状態です(笑) 要領は悪い方ですが、笑顔を絶やさずマイペースで頑張っています。

- 1 島 翔悟
- 2 AB型・しし座
- 3 バレーボール
- 4 理学療法士として、責任を感じ患者様の前では常に笑顔を心がけて頑張っています。

黒部市民病院

- 1 大田 裕也
- 2 A型・山羊座
- 3 サッカー
- 4 一生懸命に頑張ります。みなさん宜しくお願いします。

医療法人財団恵仁会 藤木病院

- 1 山田 陽子
- 2 A型・さそり座
- 3 バスケット
- 4 "明るく""元気よく"をモットーに患者様に元気を分けてあげられるPTになりたいと思います。宜しくお願いします。

介護老人保健施設ケアホーム 陽風の里

- 1 辰野 詩津香
- 2 A型・ふたご座
- 3 料理・おかし作り
- 4 初心を忘れず、一つ一つ地道にマイペースに頑張っていきたいと思います。笑顔を大切にして、患者様に接して行こうと思います。

富山県済生会富山病院

- 1 松波 香苗
- 2 O型・ふたご座
- 3 (趣味) スポーツ
- 4 個性的なPTを目指します。
- 1 佐々木 正詞
- 2 O型・てんびん座
- 3 (趣味) フットサル・スノーボード・バイク
- 4 毎日往復100kmの道のりを車とバイクで通っています。勤務に通勤に精一杯頑張りたいです。

きたがわ整形外科医院

- 1 里崎賢人
- 2 A型・おとめ座
- 3 楽器演奏（ギター・ドラム）
- 4 ドジでマイペースな僕ですが、これから多くの人と関わりながら自分自身を成長させていきたいと思っています。

富山県高志リハビリテーション病院

- 1 湊屋真由梨
- 2 B型・みずがめ座
- 3 特にないです。
- 4 平穩無事に暮らしていけるよう頑張っていこうと思います。よろしくお願いします。

- 1 水野真由美
- 2 A型・おひつじ座
- 3 バasketボール
- 4 いろんな人との出会いを大切にして頑張っていきたいと思っています。よろしくお願いします。

- 1 相山絵美
- 2 A型・乙女座♡
- 3 必死なY字バランス
- 4 身長153cm（本当は152.7cmくらい…）、体重は…㊦メタボ予備軍の相山です。小さいながらも、一生懸命がんばります。

- 1 南太一
- 2 A型・みずがめ座
- 3 フットサル
- 4 広い視野を持ったPTになれるようがんばります。

富山協立病院

- 1 能崎弓美子
- 2 A型・牡牛座
- 3 お菓子作り
- 4 毎日、元気に頑張ります！

介護老人保健施設 仁泉メディケア

- 1 中田健史
- 2 A型・乙女座
- 3 ララライ体操
- 4 30+α歳・既婚・子持ちの新人です。よろしくお願いします。

- 1 清水咲希
- 2 B型・おうし座
- 3 ボクササイズ
- 4 笑顔を絶やさず頑張ります。よろしくお願いします。

室谷病院

- 1 日隆雄
- 2 B型・しし座
- 3 自作カルテル（美味）
- 4 最近、笑顔訓練にはまっています。そのお陰で、患者様からは「良い！かわいい笑顔」と誉められてます。これからもリハビリ-ex知識プラス笑顔の知識を身に付けていきます。

- 1 氏淳志
- 2 O型・さそり座
- 3 激辛カレーを食べること・スキー
- 4 患者さんと接するときにはいつも笑顔を心がけ、患者さんからも笑みがこぼれるように頑張りたいと思っています。

- 1 津田浩史
- 2 O型・おうし座
- 3 走ること・寝ること・ドライブ
- 4 仕事頑張って、お金ためて、立派な車買います。勉強会などにも進んで参加したいのでよろしくお願いします。

- 1 成瀬美代子
- 2 AB型・うお座
- 3 剣道
- 4 毎日患者様と笑顔で頑張っています。今後、知識・技術向上させ、自己啓発していきたいと思っています。よろしくお願いします。

- 1 屋木佑介
- 2 AB型・いて座
- 3 かなりの方向オンチ
- 4 いつも人一倍汗を流し（汗っかきです）日々患者様のために頑張ってるヤツです。（患者様からは「やってる私より、あなたのほうが汗かいとるね。大丈夫？」など、心配されることも多々あるくらい…）最近、ハマっていることは「TJ」に載ってるおいしいメシ屋をめぐることです。（7月からはじめました）これからも笑顔を忘れず頑張ります。

富山市介護保険課介護予防推進担当

- 1 下村歩美
- 2 A型・いて座
- 3 バレーボール
- 4 今の職場で自分がPTとしてできることを精一杯がんばりたいです。循環器の勉強にもとりくみたいです。

西能病院

- 1 山屋 絵理華
- 2 A型・おひつじ座
- 3 すぐ寝ること
- 4 早く職場に慣れて患者さんのためにながらみたいです。

- 1 前田 友幸
- 2 A型・みずがめ座
- 3 サッカー
- 4 一生懸命頑張りますのでよろしくお願い致します。

西能みなみ病院

- 1 牧野 由香
- 2 O型・さそり座
- 3 肉体改造
- 4 長野から地元富山に戻ってきました。地元で貢献できるようにがんばっていきます。

八尾総合病院

- 1 高木 志仁
- 2 B型・魚座
- 3 カレー作り
- 4 今年から富山県に来ました。慣れないことばかりの毎日ですが、頑張っていきたいと思っています。よろしくお願い致します。

- 1 高野 千暁
- 2 AB型・かに座
- 3 剣舞
- 4 身体は小さいですが、見た目よりガッツがあります。信頼されるPTになれるように頑張ります。

- 1 西野 大助
- 2 A型・かに座
- 3 野球一筋15年
- 4 常に前向きで楽観的に物事を考える性格です。自分にできることを精一杯やり、日々精進していこうと思っています。

山田温泉病院

- 1 前田 知佳
- 2 A型・かに座
- 3 どこでも寝れること・料理
- 4 今年から一人暮らしを始め自分の時間を多く持てるようになりました。これからは、時間を有効に活用し、患者様の力になれるPTになりたいと思っています。まだまだ未熟者ですが、よろしくお願い致します。

老人保健施設 長寿苑

- 1 山下 雅大
- 2 O型・うお座
- 3 特にありませんが…食べることで寝ることです。
- 4 山梨県で3年間働いていました。今年4月より故郷の富山県に戻り働いています。皆様方にはこれからいろいろとご迷惑をおかけすることがあると思いますが、宜しくお願い致します。

光ヶ丘病院

- 1 杉本 洋亮
- 2 A型・さそり座
- 3
- 4 一日一日を大切にして頑張っていきたいと思っています。

- 1 君島 達也
- 2 A型・おとめ座
- 3 カラオケ
- 4 初心忘れずがんばります。

- 1 山口 拓也
- 2 A型・おとめ座
- 3
- 4 向上心を忘れず、がんばりたいと思っています。

厚生連高岡病院

- 1 水口 且久
- 2 O型・さそり座
- 3 傾聴、笑顔
- 4 富山医療福祉専門学校を卒業しました。O型の適当さから物事を適当に片付けてしまう事があるので、仕事ではそういう事が無いように一人一人の患者さんに対して誠実に接していきたいと思います。色々ご指導の方、よろしくお願い致します。

高岡整志会病院

- 1 本江 亜衣
- 2 B型・みずがめ座
- 3 どんな場所でも寝れます!!
- 4 どのような状況下においても、患者様やまわりの方に不安を与えない接し方！（らしいです…。）

介護老人保健施設 きぼう

- 1 酒井 美菜
 - 2 B型・おとめ座
 - 3 書道
 - 4 誰とでもすぐに仲良くなれる性格です。温厚で明るいため、みんなに親しまれています。また、思いやりの心が強く、困っている人を見ると、すぐに助けたくになります。字を書くことも得意なので、色々な字を書いて、さらに磨きをかけていきたいです。色々なことに積極的に参加し、自分自身を向上させていきたいです。
- 1 野村 良子
 - 2 O型・しし座
 - 3 大した特技はありませんが、一輪車に乗れることでしょうか？
 - 4 富山を離れ10年以上経過しており、街並みの変化におどろき研修・勉強会へ行くにも、方向おんちなので迷ってしまいます。道を覚えるためにも研修等に参加していきたいと思います。

志貴野ホーム

- 1 杉本 勝
- 2 A型・さそり座
- 3 指笛
- 4 研修会への参加や日々の臨床現場で経験を積み、成長できるよう頑張ります。皆さんよろしくお願ひします。

南砺市民病院

- 1 高田 愛
 - 2 AB型・さそり座
 - 3 ☆元気いっぱい遊ぶこと☆
 - 4 常に上を目指して、患者様から慕われるPTになれるように頑張ります。
- 1 田中正康
 - 2 A型・水瓶座
 - 3 料理全般
 - 4 様々な方法で患者様のリハビリテーションをお手伝いできるよう、頑張りたいと思います。
- 1 山本 薫
 - 2 O型・おうし座
 - 3 雪遊び
 - 4 長野から戻ってきました。地酒『三笑楽』をこよなく愛しています。
- 1 吉田 與博
 - 2 B型・魚座
 - 3 一人ぶらり旅
 - 4 謙虚に前向きに!!今年も、がんばります!!

介護老人保健施設 ゆうゆうハウス

- 1 横田 瑞穂
- 2 A型・おとめ座
- 3 スキー
- 4 利用者を支援できるPTになれるよう、いろんな事を学んでいきたいです。ご指導よろしくお願ひ致します。



県単独医療費助成制度

見直し論議、県民の力で所得制限以外、現行制度存続へ

この県単独医療助成制度は私たち医療で働くものとして見逃すことができない重要な課題です。特に心身障害者をはじめ妊産婦、乳幼児などを対象に県と市町村で医療費を助成し、患者自己負担をほぼ無料としている。県は「あり方懇談会」の最終結論を得て2008年4月実施をめざしています。

この県の動きに対し県腎友会が5月に現行制度存続を求める署名2万筆を添えて請願書提出にはじまり、県医師会も6月に現行制度の維持を求める要望書を提出、引き続き県産婦人科医会、障害者6団体〔①富山県身体障害者福祉協会、②富山県手をつなぐ育成会、③富山県視覚障害者協会、④富山県聴覚障害者協会、⑤富山県障害者（児）団体連絡協議会、⑥富山県精神障害者家族会連合会〕、富山

民主医療機関連合会等も制度存続を県に求めました。これら多くの県民の声から「医療費助成制度のありかた懇談会」は現行制度存続をその最終報告にまとめる。

現物給付は当面継続

現行	所得制限	支給方法
妊産婦 乳児(0歳児)	導入 (児童手当特例 給付に準拠)	現行制度 を継続
幼児(1-6歳児)		
18歳以下ひとり親家庭	導入済み	
心身障害者 (65歳未満重度)	導入 (世帯の会計所得 1,000万円未満)	
65歳以上重中度		
65-69歳程度		

懇談会は、厳しい財政目から制度全般の見直し、六十五〜六十九歳の重度状態の中で、持続可能な制度を構築し、昨年六月の障害者の助成の廃止、全年度を見直し、十七年十二月中間整理では、妊産婦と現行制度との所得制限導入を慎重に検討した。その後、県議会の意見や、実務的な課題を整理するアロージャトミーの調査、市町村の長アンケートなどを踏まえ、報告書では、中間整理で廃止が適宜とされた妊産婦助成について「少子化対策に対する県民の要望は大変大きい」と、当面継続することが適宜とされた。六十五〜六十九歳の心身障害者は継続する

県単医療費助成見直し案

県単独医療費助成制度の見直しを議論するの懇談会（会長・金野祐一富山国際学園理事長）は三日、県民会館で第九回例会を開き、所得制限を導入する以外に、現行制度をおおむね維持する内容の報告書案を示した。存続が議論された妊産婦助成など現行制度はすべて継続する。焦点となったのは、助成金の支給方法では、患者の窓口負担がない現行の現物給付を当面継続するとし、医療費を一度支払い、後日払い込みを受ける「償還払い振込方式」を導入は見送った。（三面に関連記事）

所得制限を導入 「妊産婦」含め7制度存続

もの、二十年四月の県議会に、全制度導入の医療費助成改革案を提出し、自己負担削減と負担割合を再考し、乳幼児は約八千五百円を目標に、心身障害者については、心身障害者について成の対象となる所得制限は世帯合計所得が一万円を超えないと見直し、報告書では、現行制度の維持のために、石井知事に提出する。

北日本新聞 8月4日

現状維持望む声反映

制度持続へ見直し続く

解説

県単医療費助成報告書案

県単独医療費助成制度の見直しは、報告書では、患者の切実な要望が反映され、所得制限が廃止された。報告書は、患者の切実な要望が反映され、所得制限が廃止された。報告書は、患者の切実な要望が反映され、所得制限が廃止された。

「制度の根幹維持された」と報告書を評価する県内障害者団体など13団体の代表―県民会館



「制度の根幹が維持された」と報告書を評価する県内障害者団体など13団体の代表―県民会館

妊産婦継続を要望 県議会議長
自民党県議会議長 横田会長、党員 横田安弘会長は三日、連の鹿野正二幹事長、富山県単独医療費助成制度見直し懇談会会長、中川高直副会長らと共に、妊産婦助成制度見直し懇談会が石井知事と成の継続や所得制限の導入をめぐり、県民会館で開かれた。実施主体である市町村など各団体から、

らも制度維持を望む声が続出した。十八年度中に予定していた報告書取りまとめは、本年度に持ち越された。報告書案は小規模な見直しで済ませたいが、県が年度は約二十億円の削減とまで言われている。報告書案は、現行制度の維持を望む声が続出した。十八年度中に予定していた報告書取りまとめは、本年度に持ち越された。報告書案は小規模な見直しで済ませたいが、県が年度は約二十億円の削減とまで言われている。報告書案は、現行制度の維持を望む声が続出した。



田村 茂の
この人に直撃
インタビュー

～元副士会長 糖添先生をたずねて～

田村：お久しぶりです。お元気なご様子でなによりです。

さて、今日うかがったのは先生がこの8月に剣岳に挑戦する噂を聞いて飛んできましたが、本当け

糖添：ええ、そんながんです。山は退職して翌2001年から毎年5・6回は登ってっちゃ。だからもう30ぐらい登ってっちゃ。

田村：えっえ、すごいいね。視覚障がい者の登山について全く知らんがんでイメージつかんがんですが・・・

糖添：もちろんサポーターの方とっしょに行くがんです。サポーターのリュックにサポート・ロープを取り付けそれに指をひっかけて、もう片方の手にはストックを持って登るんです。

田村：サポーターは登山の会の方け。

糖添：そう、富山に『富山三ツ星山の会』とって障がい者もボランティアも同じ仲間として富山の自然を楽しむ会の方々なんです。今回は視覚障がい者の友人の還暦登山です。

田村：おそらく剣岳ちゃ県内初の挑戦でないがんけ

糖添：はい。

田村：登山といっても低い山でなく3000メートル級のすごく高い山、辛くないけ。

糖添：つらいちゃ。晴眼者よりよけい体力がある。気が抜けない、ずーと神経張り詰めて、特に下りですちゃ。下りは転ぶことしょっちゅうですちゃ。転び方がうまくないとだめで、擦り傷、向う脛の打ち身がおおいかな。

田村：退職してからの挑戦、いろんな発見があったと思うけど、どうけ

糖添：高い山の頂、想像していた時と違う、

土でなく岩だということがわかった。登山道が整備されていたとしても木を跨ぐ、頭上に注意して屈んだり、でも川のせせらぎの音、鳥の声、稜線の風が気持ちいいことがうれしい発見ですちゃ。

田村：先生、じゃ日頃のトレーニングはどうしとられんがんけ

糖添：うん、毎朝、その場での駆け足足踏み20分、垂直とび200回、スクワット100回、その後ラジオ体操。その他、今は剣岳登山があるから家の14段ある階段の一段づつを20往復、2段づつを100往復、その後、ゆっくりクールダウンで20往復しとっちゃ。

田村：うーんすごい。さすがPT。立派なプログラムだねえ。登頂成功間違いなし。後は天候にめぐまれること祈るだけだね。

ところで先生みたいに挑戦しているPTの大先輩から、今、現役、特に若いPTに何かメッセージをいただきたいのですが・・・何かないけ。

糖添：あのう機能訓練と機能回復訓練とは違うと思うんだけど、最近、回復訓練をしておらんがやないやろか。やっぱ



糖添先生 近影

りADLを重視して家庭復帰に何かが必要かをもっと目を開いてほしいことか
ね。

糖添 誠次先生のプロフィール

1950年九州小倉生まれ。
九州リハビリテーション大学校（労働省）
卒業
大阪鉄道病院、富山市民病院、西能病院、
新湊市民病院をへて2000年退職。富山県士
会では創生期、理事・副会長を歴任されま
した。
目が不自由になったのは40歳ぐらいからで
病名は網膜色素変性症、
現在は日本網膜色素変性症協会富山県支部
支部長
射水市視覚障害者協会会長
スポーツでは国体に県代表で参加、
1998年横浜では、立ち幅跳び3位、60m走
5位
2004年埼玉では、サウンドテーブルテニス
2位
2006年神戸では、立ち幅跳び2位

今回の剣岳・早月尾根山行きの行程は

実施日 8月11日（土）～13日（月）
11日（土）馬場島から早月小屋へ
歩行時間 7時間、歩行距離 5 km、
標高差1400m

12日（日）剣岳（2998m）に登頂し、早月
小屋へ
歩行時間 9時間、歩行距離 5 km、
標高差800m

13日（月）馬場島へ下山
歩行時間 4時間、歩行距離 5 km、
標高差1400m

先生とは1年ぶりに再会しました。突然の
訪問にも拘らず快く迎えてくれました。顔色
はよく健康そのものでインタビュー中、驚く
ことばかりでした。ひょっとしたら体力年齢
は30代後半とも思えるくらい声に張りがあり、
こちらが元気をもらいました。

話は先生の自宅で伺いました。開け放った
窓からは夏近い海の薫りがとても気持ちよかつ
たです。帰りには奥さんから和服の生地で作っ
た色とりどりの手作り指輪いれをいただきました。
本当にありがとうございました。（イ
ンタビューは7月26日）

なお、この記事が掲載される頃は無事登頂
成功され、また新たな目標に向かってトレ
ニングされていることでしょう。本当に強靱
な信念をもち、小生とても真似できない、頭
のさがる仲間です。皆さんどうですか。富山
にはすごい人がいるやろ。みなさんも今から
でも遅くない。挑戦しましょう。



駒ヶ岳山頂にて

第13回 富山県理学療法学会大会開催にあたって

大会長 新 清 光

第13回富山県理学療法学会大会を平成19年10月14日に高岡市ふれあい福祉センターで開催致します。一重に関係各位のご支援、ご協力の賜物と、深く感謝しております。準備委員会一同に成り代わりまして感謝の心を表します。誠にありがとうございます。

この学会大会は富山県内の理学療法の学術向上に寄与し、理学療法士の知見を広めることを目的としています。現在、県内の理学療法士会員数も350人を越え、めまぐるしく変化する医療・介護福祉制度の中、医療・福祉・行政・教育等多岐に渡る職場において、日々職務に邁進しております。

医療・保健・福祉・行政においても経済的負担軽減の効果が問われる昨今、偏った経済的・科学的論理が優先されることで、身体的・あるいは社会的な弱者と呼ばれる人々への不利益が生じかねません。

それゆえに、理学療法の分野においても、それぞれの質が問われる時代となっており、専門的知識の習得や技術の研鑽に重点が置かれているように感じます。

しかしながら、人相手の私たちの仕事は、医療の知識や技術を得ることのみに重点を置くのではなく、人を人として見つめて行く、診てゆくことに本質があり、そのことが人間関係を良好に図ってゆくための基礎と考えます。

そこで、今一度基本に立ち返り考えてみよう、本学会のテーマを「人としてのあり方を見つめる」～人と人とをつなぐもの～といたしました。

人との接遇の原点は何であるかを見つめ直す機会としていただき、明日の業務の一助にさせていただければ幸いに存じます。

なお、今学会大会の特別講演は、富山国際大学准教授大谷孝行先生をお招きして、ご講演いただきます。

また、一般演題発表をいただく会員の方々には、日頃の研究成果発表の場として頂き、活発な議論や意見交換の場として更なる資質向上の糧となれることと思います。

関係各位の今後更なる発展と活躍を祈念して、準備委員一同、皆様方のご参加をお待ちいたしております。

士会員の独り言 訪問看護ステーション さわやか

金 田 亜由美

理学療法士になって、丸5年。そして6年目に突入しました。

丸4年間老人保健施設で勤務しておりましたが、去年4月から訪問看護ステーションに異動となり、在宅生活支援に向けてスタッフと協力し、日々奔走しています。

現在対象者としては、要介護度4～5の方が多く、ベッド上の生活の患者様が多いです。要介護度が高くなるにつれ、家族指導(介助方法やポジショニング指導等)が重要となります。そして、訪問の度にアドバイスをしますが、家族にとっては「私がしなければいけない」と介護に対して気負いされる方もおられ、精神的なサポートをしつつ、介護負担面を考えながら、日常生活の中で出来るような指導をするよう心がけています。

また、できる能力を実際見ていただくことが訪問ならではの利点であると言えます。ご家族にとっ

て新しい発見や、また離床に対しての考え方が変わることもあります。「食事時の際、端座位で実施した」「自分で寝起きしている」「今までベッド上清拭だったのを、端座位で足浴に変更した」という家族の声やスタッフの報告を聞くと、とても嬉しくなります。ただし、中には生活環境の変化を受け入れられない方もおられ、難渋しますが、理解していただくように時間をかけて説明しています。

そんな毎日の中、つい仕事優先となりがちですが、私にも唯一趣味があります。それは着付けです。きっかけは、祖母が形見分けとして受け取ってほしいと言われた着物でした。「貰ったならば、とりあえず着物姿を見せたい」と思い、本を購入。しかし、まったく意味が分からず挫折し、習いに行きました。最初のうちは仕事のことを考えてしまい、着付けが理解できませんでした。着付けの間仕事を忘れるようにしたところ、自分の時

間を持てるようになりました。そして、今では着物で京都に出かけたり、食事に行ったりといつもと違う時間を楽しんでいます。今は患者様との話の材料にもなり、一石二鳥以上の趣味となっています。

事務局インフォメーション

職能局の相談窓口

職能に対して、職能局では電話による相談を受け付けています。お気軽に何でもお尋ねください。

電話番号(0765)24 - 3999 FAX(0765)24 - 3684

魚津市健康センター

森山まで

E-mail : akira-moriyama@city.uozu.toyama.jp

その他、理学療法に対する疑問点は、事務局で相談を受け付けています。事務局までメール等をお願いします。

編 集 後 記

- ・新聞編集に関わるのは高校時代そしてPTA役員の時以来です。少しづつ昔の感呼び起こし、面白い紙面、役立つ紙面に一歩でも近づくよう、再度、挑戦です。(田村)
- ・先日起きた新潟県中越沖地震において、水道管やガス管の耐震化の遅れが被害を拡大したと報道されています。PTの世界でも、いつ何が起ころうとも良いように、しっかり準備しておきたいものです。(菱田)
- ・私事ではありますが、今年には変革の年になりそうです。皆さんはどうでしょうか？(助田)
- ・十数年ぶりに県士会のお手伝い復活となります。久しぶりの士会は、浦島太郎になった気分でおります。しばらくご迷惑をおかけしますが、よろしくをお願いします。(長谷)
- ・また新潟県中越沖地震がありました。復興の兆しがみえていたのに残念です。ほんの気持ちですが募金してみました。(荒木)
- ・研修会に出席して思うこと…若いPTの方々の研究熱心なこと！日々の業務で精一杯の私ってコレでいいの？と考えさせられます。(新森)
- ・暑い日や仕事を頑張った日に飲むビールは最高です。健診で肝機能結果が悪かったのにやめられない…。(福島)
- ・「成功の反対は何もしない。」士会ニュースで最近印象に残った言葉です。これからも役立つ言葉を期待します。(加藤)
- ・先日夏休みを取って旅行してきたのですが、出発前から風邪をひいてそれを娘にもうつしてしまい散々でした。皆様も健康には十分に気をつけてください。(笹川)
- ・新潟の地震には本当に驚かされました。予測がつかない災害だけに、恐怖心も強かったと思います。隣県が次々と自然災害に遭った印象を受けますが、私たち富山県も例外でなく、様々な準備をしておかねば…。(松野)
- ・最近運動不足を感じ、流行のピリズ・ブート・キャンプに挑戦しましたがすぐに挫折。もう少し簡単なものからと思い、犬の散歩をしています。毎日1時間歩くと体力もつくので、病棟内の移動が楽になりました。(岩城)
- ・今年は『猛暑』でたくさん汗をかきましたね。後半戦も欽ちゃんの走りに負けないようがんばります。(森田)
- ・ピアホールに行ってきました。バニーちゃんやバドガールがたくさんいました。来年も行こうかな♪(石吾)
- ・ピリズ・ブート・キャンプに入隊しました。入隊1日目で除隊の予感です。(坂下)
- ・夏真っ盛り。でも自分の体は冬(雪)模様。小麦色に焼きたいな…。(山森)
- ・猛暑が続いて夏バテ気味です。体調管理をして倒れないように頑張ります。(牧野)
- ・理学療法士の視野は、対象者のみではありません。人々の暮らす社会、その背景にある政治、また、それを担う人間そのもの。ミクロからマクロまで大きな視野を持ち、対象者への暖かい眼差しを注ぐために、“情報”を活用しましょう。(城戸)
- ・士会ニュースに関わって、はや十数年。文章を書くのが苦手なため、毎回生みの苦しみを味わいますが、出来上がってきたニュースを見るとそんな苦労もどこかにいってしまうようです。さて、今回の士会ニュースNo.2はいかがだったでしょうか？今後できることから、少しずつ変えていきたいと考えています。よりよいものを作るよう、部員一同頑張りますので、皆様のご意見・ご協力等をよろしく願いいたします。(中谷)